

東紀州若者交流会「世界に伝われ！東紀州の魅力！！」報告書

1. 開催日時

平成31年2月15日（金） 15:20～17:00

2. 開催場所

三重県立尾鷲高等学校 特別棟2階 総合演習室



3. 参加者

尾鷲高校生17名（内発表者10名）、尾鷲市6名、尾鷲商工会議所1名、尾鷲市観光物産協会1名、紀北町6名、みえ熊野古道商工会1名、紀北町観光協会1名、尾鷲高校教職員4名、紀北はまち座18名、講師（尾鷲市副市長、尾鷲高等学校長、紀北地域活性化局長）、観覧者6名

4. 目的

東紀州は人口減少が著しく、少子高齢化や過疎化が急速に進んでいる。このような状況を打開するには、今まで以上に若い世代の活躍が期待され、各主体が連携する必要がある。紀北地域の次代を担う尾鷲高校生と、県市町、商工会議所、地域おこし協力隊、市町観光協会、尾鷲高校教職員等が交流を図り、東紀州地域の課題解決に取り組むきっかけにするとともに、高校生が将来地域で活躍する可能性を広げることを目的とする。

5. 交流会内容等

①開会の挨拶（15時20分～15時25分）

はまち座長から交流会の趣旨、来賓の紹介、タイムスケジュールの説明等を行った。

②外国人向けツアーの発表（～15時50分）

はまち座員からツアー実施の経緯や目的といった趣旨を説明した後、高校生からツアー内容の企画、PR道具の作成、英語での案内の練習、ツアー当日の流れ、アンケート結果、感想等について発表を行った。パワーポイントをスクリーン投影して発表。



③意見交換（～16時30分）

8班に分かれ、「もし、あなたが外国人向けツアーを企画するなら？」と題して、事前に与えられた条件を基に、ツアー名称、内容、費用等について意見交換を行った。

メモ用の付箋やはまち座が作成したまとめ用の様式等を各班配布。

意見交換中は講評者や観覧者に席を立てて見て回っていただいた。



④グループ発表（～16時50分）

各班で考えていただいたツアープランを発表していただいた。

提案されたプランは下記の通り。

- ・定置網漁に参加し、魚を捌く体験→干物、寿司等を作り、桜の季節であれば花見をしながら食べる→権兵衛の里や馬越峠等を訪れる
- ・【Let's enjoy water tour in summer】
海（三木里）でシーカヤックや釣りを体験→キャンプイン海山（銚子川）で川遊びやBBQを行う→何かの体験を行う→夕方以降に灯籠祭りに参加
- ・【東紀州体験ツアー】
マイハシ作り体験→ガイドによる説明→おととで昼食→カヤック体験や温泉、お土産の購入等を行う
- ・【高校生プレゼンツ Let's go to beautiful river & festival】
銚子川でカヤック体験やターザンロープ、滝の滑り台で遊ぶ→地元食材でBBQ→祭りがあれば祭りに参加 or 縁日を開いて体験してもらう
- ・【which do you choose? Don Don or Nonbiri!】
 - ① 天狗倉山や便石山への登頂→渡利牡蠣の昼食→ダンスや銚子川で川遊び
 - ② 九鬼や古江で漁師町の街歩きや漁港の風景見学→おととでランチ→カルタ
- ・【自然てんこもりツアー】
漁船に乗って釣り体験→BBQやスイカ割り→川遊び→古里温泉や夢古道おわせで温泉に入る
- ・【夏の東紀州満喫ツアー】
港町街歩きスタンプラリーや着物体験による記念撮影など→銚子川でBBQ→尾

驚ひのきを使った小物づくり

・【いざ、紀ノ国へ～Let' s stay in KINOKUNI～】

農業と水産業に分かれて食材集め→キャンプ場でBBQ→林業体験と木工体験



⑤講評（～17時00分）

尾鷲市副市長、尾鷲高等学校長、紀北地域活性化局長からご講評いただいた。

- ・生徒が企画から実施まで関わって、高校生にとってはいい経験になったと思う。各班の発表を聞いて通年でツアーができると感じた。
- ・若者ならではのしなやかな感覚を大切に、これからも失敗を恐れず挑戦してほしい。
- ・出身の異なる人と意見交換することは地域の魅力の再発見につながって良い。将来は地元で就職してくれると嬉しいが、都会で就職したとしても、友人知人に地元の魅力を伝えてあげてほしい。